

「親子里山体験

～『里山』って何？体験してみよう!!～

総合運動公園内「四季の森」で
里山の散策と竹細工を作りました。

(表紙写真)



日進市環境基本計画

年次報告書<やわらか版>

令和3年度

(令和2年度実績)

「2024年のこどもたちへ」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



目次

環境基本計画について.....	2
水	4
緑	6
まち	8
ライフスタイル.....	10
コミュニティ.....	12
遊びと学び.....	14
市民意識調査から見た目標に対する達成状況.....	16

ハイライト

令和3年度の市の取り組みを紹介します

環境基本計画について

2024年(R5年)の未来像(ビジョン)は？

水

- ・日進市を流れ下る天白川は美しく、その源である三本木川や岩藤川は眩いばかりに輝いている。
- ・天白川だけではなく、街の至る所に飲みたくなるような水と、ずっとそこにいたくなるような情景をたたえた水辺がある。



緑

- ・東部丘陵は自然公園として昔と変わらない多様な自然環境を保ち続けている。
- ・日々人の目を楽しませる公園や街路樹など都市の緑は、里山の緑と繋がり、生態系を結び付けるだけでなく、地球温暖化防止にも一役買っている。



まち

- ・住宅街では、親しみのある街並みが昔と変わらず、人々のコミュニティを守り続けている。
- ・人々はマイカー利用を控え、安全な道路を徒歩や自転車で移動し、便利な公共交通機関を使うようになっている。



ライフスタイル

- ・街並みは変わらずとも、人々の生活様式は20年前と様変わりし、排水への配慮、省エネルギーなど自然にやさしい生活をしている。
- ・街を歩いているだけでも、不法投棄や散乱ごみのない美しいまちになっている。



コミュニティ

- ・人々やその活動は、コミュニティでよくまとまり、活発に情報発信している。

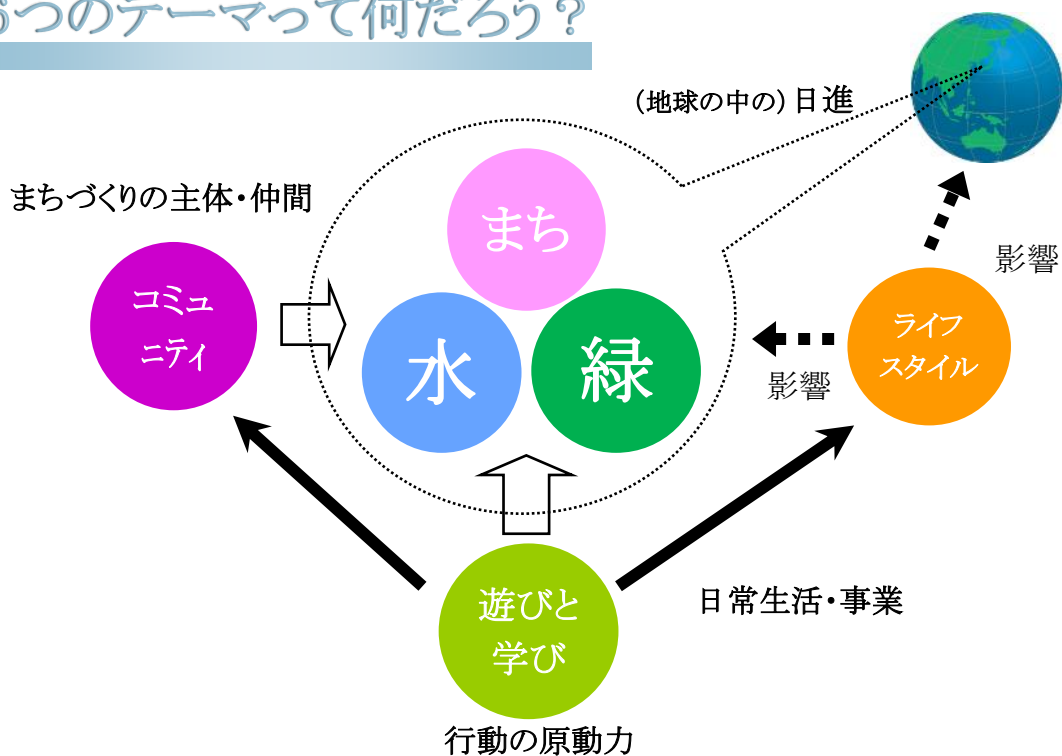


遊びと学び

- ・自然、環境について学んだり、気づいたりできる楽しいことがたくさん用意されている。



6つのテーマって何だろう？



今は、計画のどのあたり？

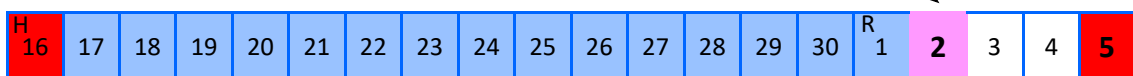
環境基本計画は、計画期間の中で短期目標(5年間)と長期目標(10年間)を立てて進めています。今回は、長期目標の設定年度である令和元年度の実績報告です。

▼長期目標達成に向けて…

前回の報告で短期目標(5年間)の取組を終え、今後は、長期目標のゴールである令和5年度に向けて取り組みを進めていきます。

短期目標の取り組みを終えた時点で達成している項目については引き続き維持するよう取り組みます。一方で達成されていない項目の中でも、年々指標が良くなってきている項目や悪化したり向上したりというように横ばいになっているものもあります。長期目標取り組み期間終了(令和5年度)時点でより多くの項目が目標を達成できるよう、より一層取り組みを強めていく必要があります。

START



2004.4

(H16年度)

現在はココ！

GOAL

2024.3

(R5年度)

2021.3 (R2年度)

環境基本計画



「環境」「基本」「計画」という3つの言葉の組み合わせでできているこの計画。

県や市などそれぞれの自治体が独自に作る、「自分たちのまちの環境をこんなふうにしていこう！」という基本的かつ重要な行政計画のことです。

計画の経緯

日進市では、平成13～15年度の3年をかけて、市民と市職員との共働で「日進市環境基本計画」をつくりました。

中間の見直し(平成25年度)では、ESD(※P14参照)の推進と多様な組織の参加、連携促進を盛り込んでいます。

水

14 海の豊かさを
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



海洋プラスチックごみ問題

プラスチック製のペットボトルなどは適切な処分がされないことにより、河川から海に流され海洋プラスチックごみになります。そうしたごみが海洋汚染や生態系に影響を及ぼすことが問題視されています。

日進市では小学校の出前授業として、折戸川にホテルを飛ばそう会が、ホテルの生態の学習とともに河川の環境保全の大切さについても学習の機会を与えてくれています。

ポイ捨てを行わないのはもちろんですが、日頃からマイバッグやマイボトルを持ち歩くなど、プラスチックごみを減らす行動が求められます。

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

水について

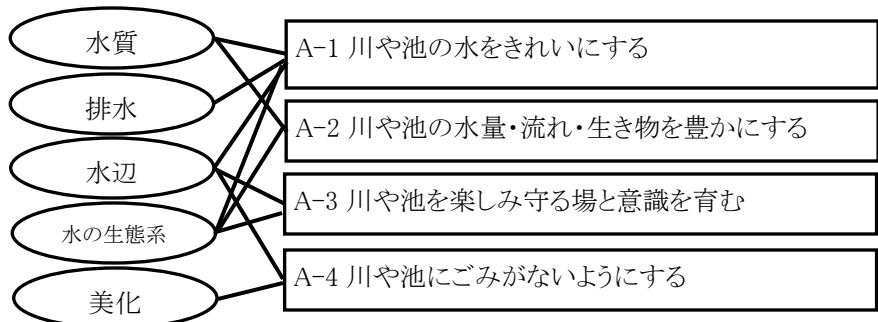
日進で「水」と聞いて真っ先に思い浮かぶのは、市域を東西に流れる天白川とその支流です。あるのが「当たり前」になっている水ですが、私たちにとってかけがえのない、無くてはならないものです。水は気体や個体などさまざまな形に姿を変え、私たちの生活にかかわっています。そして水は何度も自然の中で循環し、再生を繰り返しています。

きらきら光る水面、そこに映る季節の景色、鳥たちが舞い、魚が躍る、そんな美しい水辺であるように、河川やため池、排水の調査を行うことで川の現状を知り、川がきれいになるにはどうすればよいかを考えていきます。また、市民の憩いの場として、「ふるさと日進」の大切な要素としてまちづくりに活かしていきます。

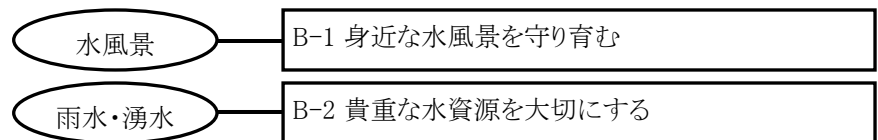


何をするの？

◆ A. 川や池の水と水辺



◆ B. 水の風景・水資源



何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

東部丘陵を源流とし、市の中心部を流れる天白川は私たちにとって身近な河川です。この天白川で、川に住む生き物から水質を調査する、「水生生物調査」を実施しました。水生生物調査は、毎年8月の第1木曜日に環境課と愛知中央ライオンズクラブとの共催で実施しており、令和2年度は、50名の参加があり、毎年人気のあるイベントです。

参加者は見つけた生き物の特徴や、どのような水質で生息できる生き物なのか、在来種と外来種の違いについてなど、熱心に講師の説明に耳を傾けながら、きれいな川を守っていく大切さを学びました。



生活排水を考えましょう

川や海の汚れは、台所・洗濯・風呂などの生活雑排水が主な原因となっています。

きれいな水環境を守るためには、日常での生活排水対策や浄化槽を正しく管理することが大切です。

合併浄化槽は、家庭から出る水の汚れの約90%を除去することができます。

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換の際には、費用の一部を補助します。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 環境保全係]

TEL:0561-73-2843

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
A1	河川のBOD平均値 (各河川測定地点値)	mg/L	2.8	3.0	達成	5以下
	生活排水処理率	%	83	91.4	未達成	93
A2	多自然型河川・親水公園等の整備箇所数	箇所	—	—	未達成	10
A3	水生生物調査延べ参加者数	人	575	1,157	未達成	2,000
A4	河川愛護団体数	団体	10	10	未達成	20
B1	ため池の数	箇所	44	40	未達成	現状維持
	1人1日当たりの水道使用量	L	233	235	未達成	210 (10%減)
B2	浄化槽雨水貯留施設転用補助数(累計)	世帯	75	78	未達成	108

緑

15 陸の豊かさも
守ろう



日進市緑の基本計画



2021年(令和3年)3月
日進市

緑の基本計画

本市における緑豊かなまちづくりを市民と協働して進めていくために、必要な緑に関する指針となる計画です。旧計画策定から10年が経ち、計画の満了を迎えるとともに、緑に関する情勢の変化に対応するため、計画の改定を行いました。

「みんなでつろう 後世まで良質な緑で豊かさを感じられるまち 日進」を基本理念とし、緑の保全・活用・創出・支援に取り組んでいきます。

詳しくは、都市計画課までお問い合わせください。

[都市計画課 公園緑地係]

TEL:0561-73-3297

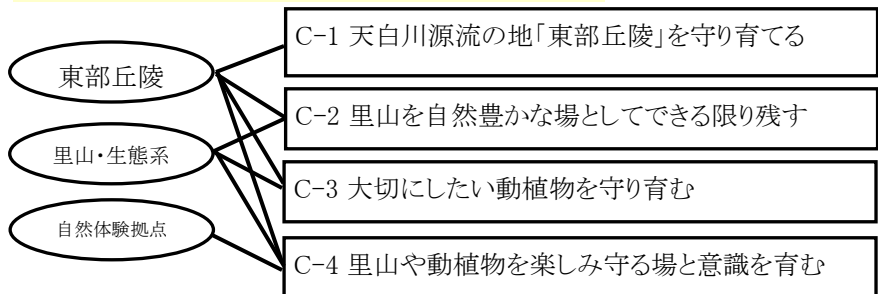
緑について

緑のある風景といえば、里山や田畑など、日本のふるさとの原風景を思い浮かべる人も少なくないでしょう。緑は生き物の命を育み生態系をつなぐ場となっています。また、光合成により二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の抑制にも役立っています。こうした森や緑がなくなるということは、空気やそこで暮らす生物たちのつながりもなくなってしまうことになります。

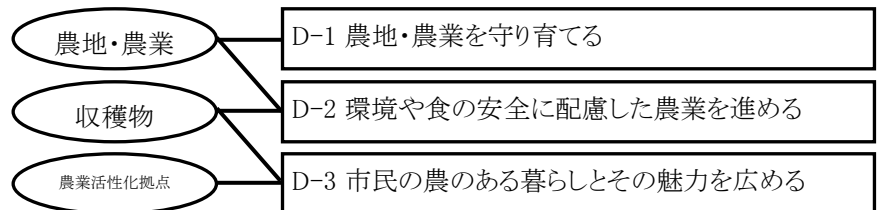
市の東部には、緑豊かな自然が残されています。このような多様な自然環境を守るとともに、人々が自然を感じ学ぶ場所を次の世代へ引き継いでいくこと、また農地・農業にも関心をもち、農業がもっと親しみやすいものとなるよう、地域の農業を活性化し人と緑、人と人を結びつけるようなみどりあふれる豊かなまち、日進を目指しています。

何をするの？

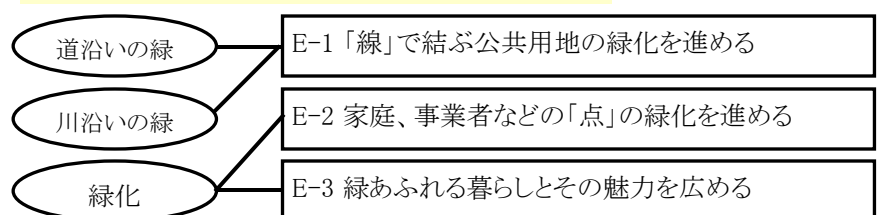
◆ C. 里山と息づく動植物



◆ D. 農のある暮らし



◆ E. 緑のネットワーク



何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

北高上緑地はじめ、日進市には多くの里山があります。里山とは、人里に隣接し、人の手によって環境維持・管理してきた農地、ため池、草原などで構成される地域を指します。里山は緑豊かな自然を残すだけでなく、多くの生き物の生息地となっています。

日進市では、里山と触れ合う機会を創出することで、里山を守り育てるための仕組みづくりを行っています。その取組としてシイタケ栽培体験、竹炭作りなど、里山の自然の豊かさを感じられる講座などを開催しました。また、里山保全の新たな担い手づくりとして、里山保全実践講座を開催し、参加者は座学と実践を通して、里山の整備方法や里山に住む生き物について、楽しみながら学びました。

日進市の農業について、農業者の高齢化や担い手不足など、厳しい状況にあります。そこで、気軽に農業に親しんでもらえるよう市民農園の開設や、日進アグリスクールで新たな担い手を育成しています。

また、新たに競争力のある商品を売り出し、農業所得の向上につなげるため、日進市のもち米「こはるもち」をブランド化しました。

生物多様性

地球上には、3,000万種ともいわれる多様な生き物がいます。

生物多様性とは、いろいろな生き物がお互いつながりあい、支え合って豊かな生態系を築いていることです。

私たちの暮らしは水、食べ物、資材や技術など、あらゆる場面で生物多様性の恩恵を受けています。これらは私たちの豊かな生活に欠かすことはできないものです。

長い年月をかけて築かれてきたこのつながりが今、危機に直面しています。開発や地球温暖化、外来種など、近年、生態系のバランスが急速に崩れてきています。

生物多様性を守りながら、それによってもたらされる恩恵をずっと先の未来でも受けられる社会を作っていくための取組が必要とされています。

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
C1	森林面積※	ha	654	630	達成	593以上維持
C2	里山保全活動拠点数	箇所	6	6	未達成	10
C3	大清水湿地に発現すると見られる10種の希少種保護数	種	9	9	未達成	10
C4	日進自然歩道延長	km	5	6.8	未達成	30
D1	農地面積	ha	470	441	未達成	452以上維持
	休耕田の面積	ha	56	43.7	未達成	41
D2	学校給食における地場産物の使用率	%	57.7	51.4	未達成	60
D3	市民菜園区画数	区画	1,111	1,231	未達成	3,000
E1	緑地率	%	41	38	未達成	39 確保
E2	公園等愛護会活動公園数	箇所	51	63	未達成	84
E3	市民に開放された樹林地箇所数	箇所	14	15	未達成	50

※森林面積は、赤池箕ノ手土地区画整理や市内各所で行われる開発事業で減少しているものの、目標値は維持しています。

まち

15 陸の豊かさを守ろう



11 住み続けられるまちづくりを



くるりんばす

くるりんばすは、日進市の生活交通手段として運行しており、その利用者の約半数が65歳以上の高齢者です。また、通勤や、学生の通学にもご利用いただいています。

環境への取組としては、平成29年より計画的にバスの買い替えを実施しています。排出ガス規制に適合し、燃費効率の良いバスに順次交換していくことで環境負荷低減に取り組んでいます。

また、運行事業者においては、デジタルタコグラフを運転分析、安全指導に活用して環境負荷の少ない運転の見直しに努めています。

[防災交通課 移動政策室]

TEL:0561-73-3249

まちについて

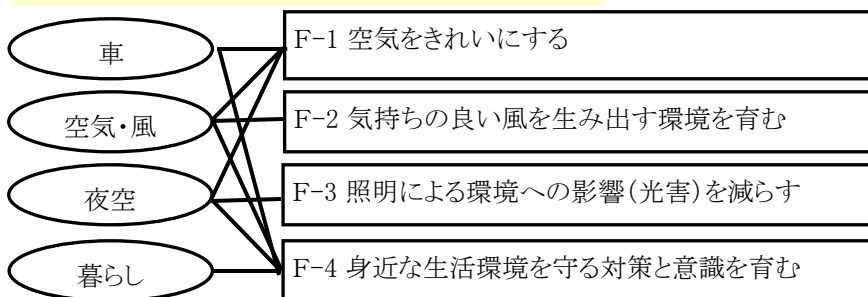
環境には、自然だけではなく、私たちが暮らす場所も含まれています。歴史や文化、住みやすさなど、人が暮らす空間を「まち」ととらえ、暮らしや住環境について考えています。

住環境に目を向けると、地球温暖化の要因の一つである車の排気ガスが問題となっています。そこで、低公害車の普及や公共交通機関の利用を進めることで車中心の生活を見直して、自然と調和した、市民が憩い、歩きながらまちを楽しめる空間を作り出すことを目指しています。

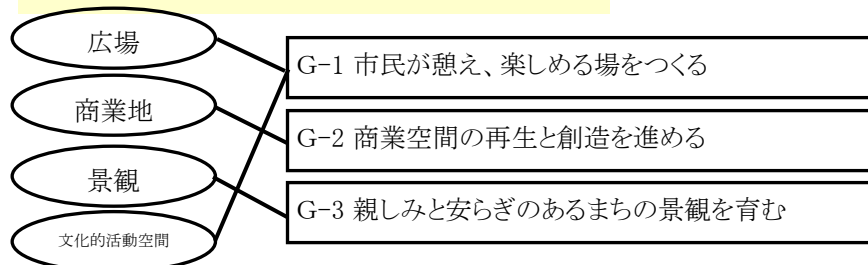
また、昔ながらの建物は今でも人々の手で大切に守られていて、歴史や文化を継承して活かすことにより愛着の持てる、誇りにできる「まち」を創り出すという、環境保全と市街化という、一見矛盾したものを調和させながらまちづくりを進めています。

何をするの？

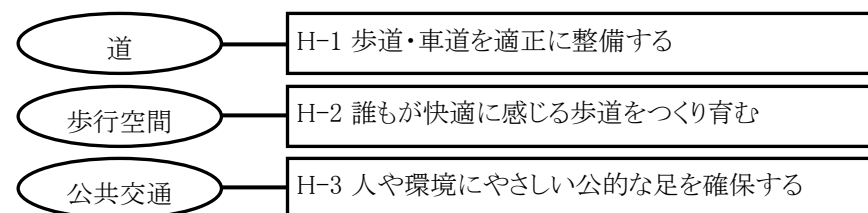
◆ F. 生活環境



◆ G. まちなみ・まちかど



◆ H. みちと足



何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

日進市は、都市に隣接していながらも、天白川流域の平地に農耕地が広がり、東部丘陵など、自然が多く残されている地域があります。そんな緑が多く残る日進市ですが、近年では住宅地としての開発が進んでいます。その中で、生活の中で緑を増やす取組として、平成22年度から「緑のカーテンコンテスト」を開催しています。令和2年度は一般部門40件、公共施設部門37件からコンテストに参加があり、毎年人気の企画になっています。

緑のカーテンは夏を涼しく過ごせるだけでなく、二酸化炭素の削減やヒートアイランド現象の緩和にもつながります。参加者からは地球温暖化による気候変動について考えるきっかけになったとの意見が多数寄せられました。どの参加者も一様に緑のカーテンの成長を楽しみながら、暑い夏を過ごし、環境意識の向上につながる効果がありました。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標 達成状況	長期目標【R5】
F1	大気汚染に係る環境基準適合率	%	100	100	達成	100
	エコドライブ宣言者数	人	0	925	未達成	4,000
	市所有自動車のエコカー導入率	%	57.8	51	未達成	100
F2	緑のカーテン延べ参加者数	人	558	1,108	未達成	2,000
F3	光害苦情処理件数	件	0	0	達成	0
F4	公害苦情処理件数(光害を除く)	件	125	107	達成	113
G1	市民一人あたりの公園面積	m ²	9.0	8.5	未達成	10
G2	事業所数	件	2,383	2,057	未達成	2,350以上 維持
G3	まちなみ保存地区数	地区	0	0	未達成	2
H1	幹線道路の歩道整備率	%	78.3	80.4	未達成	85
H2	道路緑化面積	m ²	24,780	27,504	達成	26,000
H3	ぐるりんばすの一日あたり利用者数 (元中央線(名鉄バス)含む)	人	1,404	630 (864)	未達成	1,600

※大気汚染に係る環境基準適合率は、浅田町と五色園の大気測定データが環境省の基準を満たしているため達成となっています。

ECO外出マップ

家庭から排出される二酸化炭素の約4分の1は自家用車から排出されます。

地球温暖化対策として、市民と市内に通う大学生などが協力して、徒歩や自転車といった地球にやさしい移動手段で市内を巡ることができる、エコ外出マップを作成しました。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896



ライフスタイルについて

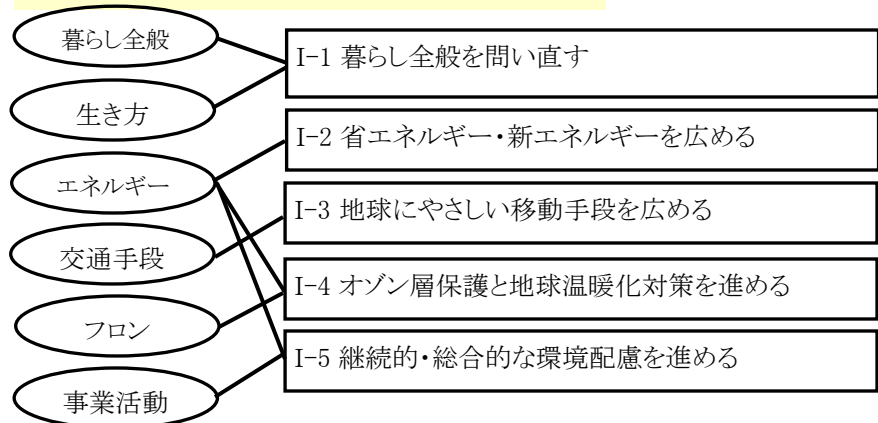
現代の私たちのライフスタイルは、環境に大きく影響を与えます。そして私たちが便利な生活をするほど、地球の環境は悪くなっていきます。そんな私たちの現代的なライフスタイルや考え方を改める必要があるかもしれません。

でも、やっぱり便利でやめられない。なんとかしなくちゃ、そんな想いはあっても、何をすればいいのか分からない。そういう人も多いのではないのでしょうか。市では、地球温暖化やごみ問題などについて、生活しながらできる取り組みを広報、ホームページ、メールマガジン等で情報を発信しています。

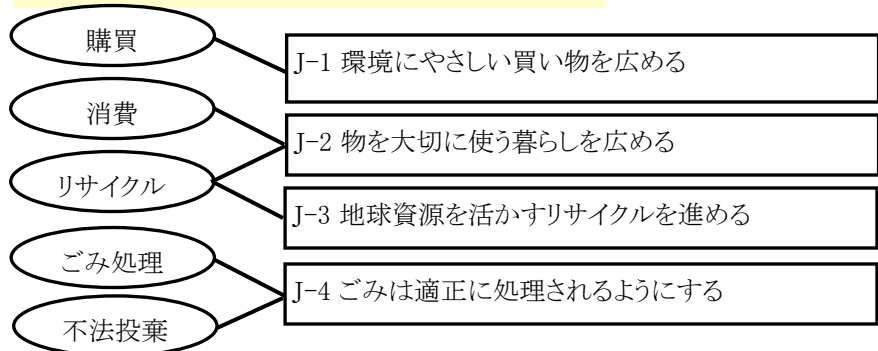
その他にも、情報を伝えられた人の「行動につながる」効果的な情報の一つに口コミがあります。そこで講座やイベントなどの機会を設け、参加者の口から口へと伝わることで、一緒に楽しむ仲間が増え、こころと体にもやさしいエコ生活を始めてもらいたいと考えています。

何をするの？

◆ I. 暮らし全般・エネルギー



◆ J. 生活と廃棄物



COOL CHOICE

地球温暖化対策として、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を削減しながら、快適な暮らしにもつながる「賢い選択」をしていこうという取り組みです。

令和2年10月26日に菅総理は所信表明演説で、「2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。日本では現在、年間で12億トンを超える温室効果ガスが排出されています。これを実質ゼロにするためには、日本全体で取り組んでいくことが重要です。

【はじめよう！ COOL CHOICE】

- ・夏はクールビズ(室温28℃を目安)、冬はウォームビズ(室温20℃を目安)
- ・省エネ家電をチョイス
- ・エコモビに挑戦
- ・緑のカーテンを育てよう
- ・宅配便は1回で受け取る

など

何をしたの？(R2年度の取り組み<抜粋>)

環境に配慮した消費の仕組みの一つに、地産地消があります。地産地消は輸送による環境負荷を抑えるだけではなく、生産者との関係が近いため、購入者の安心感につながります。

これまでも日進市内では、あいち尾東農業協同組合(JA)やプライムツリー赤池にて産直野菜の販売が行われてきましたが、地域農業を活性化と地産地消の推進のため、市とセブン-イレブン・ジャパンの地域活性化包括連携協定に基づき、令和2年11月から市内2カ所のセブン-イレブンで地元野菜の販売をはじめました。現在は2店舗ですが、徐々に販売店舗を拡大し、日進全域に広げていく予定です。

この取り組みを地域の多くの人に知ってもらうため、12月5日(土)にセブン-イレブン日進北新町店において、「軽トラ野菜市」を開催しました。駐車場に並んだ地元農家さんの軽トラックの荷台には取れたての新鮮野菜が積み、立ち寄った多くの買い物客でにぎわいました。



どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標 達成状況	長期目標【R5】
I1	エコライフ宣言者数	人	0	1,803	未達成	3,000
I2	太陽光発電設備設置世帯割合	%	4.0	9.7	未達成	25
I3	市内3駅の乗降客数	人	37,590	数字は年末頃	未達成	54,000
I4	市役所環境保全のための行動計画達成率	%	84.1	80.5	未達成	100
I5	ISO14001取得事業者数 (エコアクション21取得者を含む)	社	21	29	達成	25
J1	環境配慮宣言店舗数	店	79	86	達成	向上
J2	フリーマーケット開催数	回	1	0	未達成	5
J3	リサイクル率	%	27.2	26.8	未達成	28.3
J4	1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	939	811	未達成	770
	不法投棄量	t	43	16	未達成	9

見える化ラベルを 作成しました

日常から二酸化炭素削減行動を意識してもらうため、卓上に置くことができる三角柱のポップを作成しました。

気軽に取り組める行動ばかりなので、エコアクションを実践してみてください。

見える化ラベルは、家庭向けと事業所向けの2種類を作成しています。

詳しくは、環境課までお問い合わせください。

【環境課 ESD推進係】

TEL:0561-73-2896



コミュニティ

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



にぎわい交流館

にぎわい交流館は、市民自治活動支援の拠点ならびに、国際交流・大学交流の拠点として、また、広く市民の皆様が交流できる場となるよう、平成17年11月に誕生しました。

1階市民サロンは、待ち合わせ、おしゃべり、くるりんばす待ちなど、いつでも気軽にご利用いただけます。また、月曜日から土曜日のお昼には、ワンデイシェフによるランチの提供も行っています。(新型コロナウイルス感染症の影響により、一部制限をかける場合があります。)

2階では、日進市国際交流協会において、多言語による外国人相談室を開設しているほか、人権・男女共同参画情報コーナーでの関連図書の閲覧や貸し出しも行っていきます。

詳しくは、にぎわい交流館までお問い合わせください。

[にぎわい交流館]

TEL: 0561-75-6650

コミュニティについて

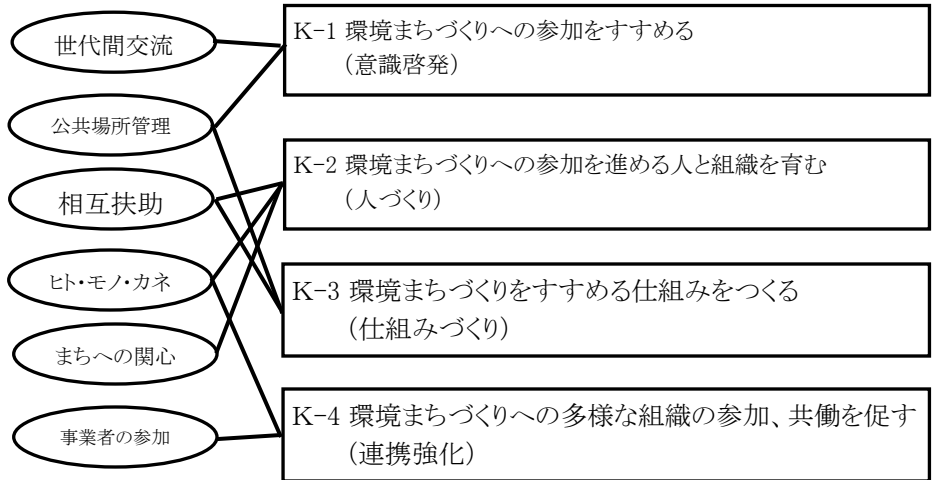
現代環境とコミュニティには、とても深いつながりがあります。コミュニティは人間が「いきる」環境そのもの。コミュニティは、環境まちづくりの大切な要素なのです。

どんなまちづくりも、いちばん大切なのは人と人のつながりというソフト面。素晴らしいハコやキマリができて、そこで暮らす人たちが仲良くいきいきとしていなければ、意味がありません。そのために、環境というどんな立場の人たちにも等しく関わる視点をもって、人と人とのつながりを作って深めていくことが大切なのです。



何をするの？

◆ K. コミュニティ



何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

市民や市民団体、企業と行政が皆で作る仕組みとして「にっしん環境まちづくりサポーターズ制度」を平成28年度から実施しています。市民や団体の皆さんに会員になっていただき、いろいろなエコ活動を実践していただくことで、にっしんの環境まちづくりを進め、持続可能な社会の実現を目指して作られました。サポーターズ会員には、令和2年度末までに延べ2,265件の方に登録いただいています。

この制度は、環境課が進めるESD(持続可能な開発のための教育)の活動支援も伴っており、ESD環境講座、市の環境イベントに参加、緑のカーテンコンテストへ参加、地球温暖化対策機器補助金申請など、環境まちづくりに関わる講座等へ参加した市民の方にポイントを交付しています。また、他の部署のイベントである、北高上緑地見学会やにっしん健康マイレージなどへの参加においてもポイントを交付しています。

令和2年度においても、集めたポイントに応じて素敵な景品があたる抽選会を開催し、開催にあたり、多数の事業者様から協賛品の提供やご寄付を賜りました。今後も、環境まちづくりのために様々な取組を行う市民、市民団体、事業者等の連携を支援する事業として推進していきます。



☆R2環境まちづくりサポーターズ協賛企業一覧☆

岡崎信用金庫東郷支店、(株)ジェエルシー、(株)十六銀行赤池支店、
(株)スギ薬局、瀬戸信用金庫日進支店、中央可鍛工業(株)、
中部電力(株)天白営業所(現:中部電力パワーグリッド(株))、
豊田信用金庫米野木支店、豊田信用金庫日進支店、
(株)名古屋銀行日進支店、ピアゴラフーズコア赤池店、
プライムツリー赤池、(株)マーゼンプロダクツ、マックスバリュ米野木店
(敬称略、五十音順)



日進市環境基本計画
パートナーシップ事業

市民団体の皆様が行う環境活動や環境イベントで、日進市環境基本計画のパートナーとして計画を推進していただける事業やイベントを募集しています。※日進市市民活動団体登録を行っている団体が対象です。

【R2年度実績 9団体9事業】

- ・折戸川にホテルを飛ばそう会 『折戸川ゴミ拾いウォーク』
- ・NPO法人 海賊船 『ゴミ銀行で出逢ったもの 生活アート展』
- ・天白川で楽しみ隊 『天白川で楽しみたい!』
- ・日進岩藤川自然観察会 『日進岩藤川自然観察会/愛知池自然観察会』
- ・日進市・ペット共生文化を考える会 『飼い主マナーの普及事業』
- ・にっしん市民環境ネット 『農育プロジェクト』
- ・にっしん地域猫の会 『猫の譲渡会&相談会』
- ・ワンズパス(one's path) 『学用品ゆずりあいプロジェクト』 (50音順)

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896

どうなったの？

判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
K1	区・自治会加入率	%	71.1	73.8	未達成	80
K2	にぎわい交流館の利用者数	人	35,550	7,447	未達成	41,000
K3	環境パートナーシップ協定締結団体数 (環境まちづくりパートナーシップ制度団体数)	団体	— (—)	— (50)	達成	20
K4	地域活動参加事業者数	事業者	14	1	未達成	20

※「環境パートナーシップ協定締結団体」については0となっていますが、市の方針としては環境まちづくりパートナーシップ制度の団体数に統合しています。こちらの団体数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

遊びと 学び



ESDとは？

ESDとは、「Education for Sustainable Development」の略称で、「持続可能な開発のための教育」と訳されます。

今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESDとは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。

日進市では講座などを通して、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。



遊びと学びについて

このテーマでは、ESDの考え方である「人と自然」「人と社会」「人と人」のつながりを大切にし、様々な世代の方に、遊びの中で学びながら環境まちづくりやそれにつながる活動を進める力を身につけてもらい市民全体の環境に対する感性をみがいていきたいと考えています。

代表的な取り組み

にっしんESD講座

日進市で活躍する市民団体と共働で行っている「公募提案型事業」では、環境基本計画の施策に沿った「水・緑・まち・ライフスタイル・その他環境全般に関する環境共育」に関する講座を実施しています。また、その他にも企業と連携した学習講座も多く実施しています。



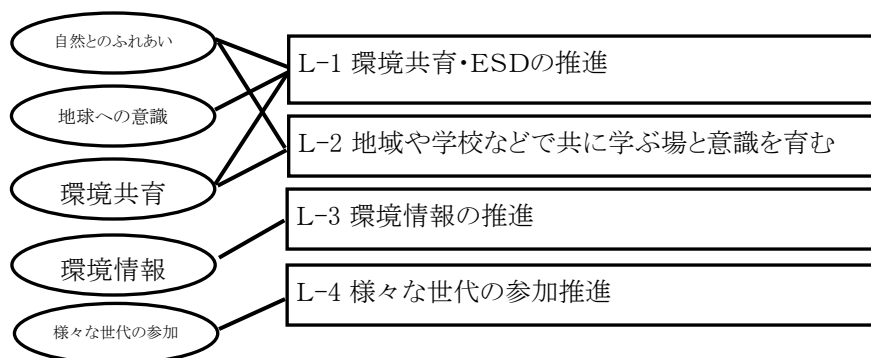
(写真左: にっしんESD講座「竹で花瓶とマイストローを作ろう」より)



(写真右: にっしんESD講座「地球温暖化を学ぶ科学実験教室」より)

何をするのか？

◆ L. 遊びと学び



何をしたの？(R2年度の取り組み＜抜粋＞)

子どもの主体性や協調性、社会性などの自己形成を助け、自己肯定感を高めるとともに、自身の様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことができるようなキャリア教育を推進する事業として、「子どものまち事業」を実施しました。

「大人は立入禁止」のコンセプトのもと、小学5年生から中学3年生の総勢53名の実行委員を中心に、どんなお店をつくるのか、どうすればみんなが楽しく暮らせるかなど、「自分がやりたいこと」と「来る人が安全に楽しく過ごせること」の両立を試行錯誤しながら、「子どもだけのまち」を作り上げました。

参加した子どもたちは、ゼロから自分たちの力で作り上げていくことで、楽しさだけでなく、「うまくいかないこと」「大変なこと」を乗り越える達成感を得られる場所になったようでした。



持続可能な社会の実現

パリ協定や持続可能な開発目標(SDGs)などを背景として、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance) (以下「ESGという。」)の3分野への取組を踏まえた資金の流れが世界的に広がっています。事業者が持続可能性の基盤となるESG要素を取り入れ、環境課題と経済・社会的課題の同時解決に向けた取組を広めていくことで、地域の持続可能な成長につながる事が期待されます。

日進市においても、ESD・SDGsの推進のため、SDGsカードゲームを用いた職員研修などを実施しており、ゲームを通して社会課題の相互につながりに気づくことから、課題を共有し、連携していくことの大切さを実感し、業務に活かしていきます。

市、市民、事業者がそれぞれの立場で課題解決に向けて取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指しましょう。



どうなったの？

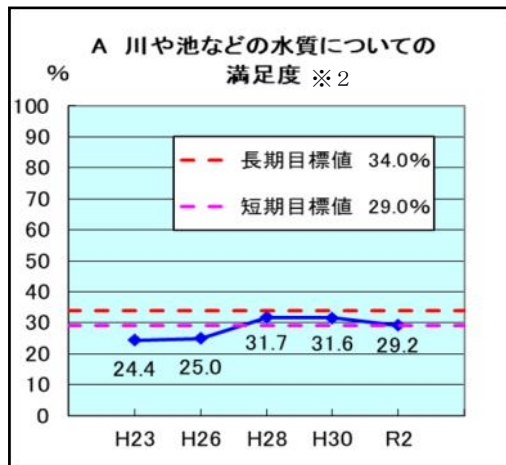
判断する基準		単位	H24実績	R2実績	長期目標達成状況	長期目標【R5】
L1	環境共有講座数	講座	16	59	達成	30
L2	環境パートナーシップ事業数	件	4	9	未達成	20
L3	エコフェスタ参加団体数 (にしんわいわいフェスティバル参加団体数)	団体	31	—	未達成	40
L4	こどもエコクラブへの参加子ども数※ (環境まちづくりサポーターズ子ども会員数)	人	106 (—)	13 (545)	達成	300

※「こどもエコクラブへの参加子ども数」については減っていますが、市の方針としては環境教育への参加者数については環境まちづくりサポーターズ制度の会員数に統合しています。こちらの会員数は順調に伸びているため、施策の目的は達成できていると判断しています。

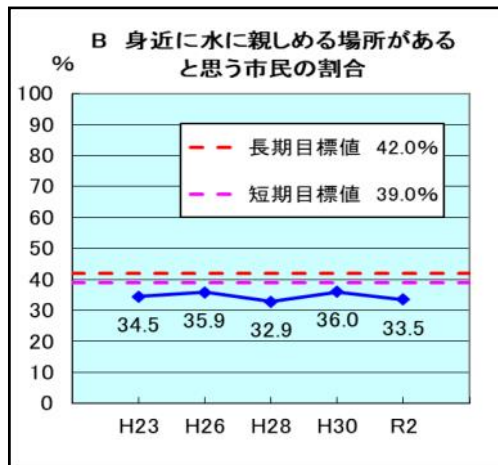
市民意識調査から見た目標に対する達成状況

市民意識調査って何だろう？

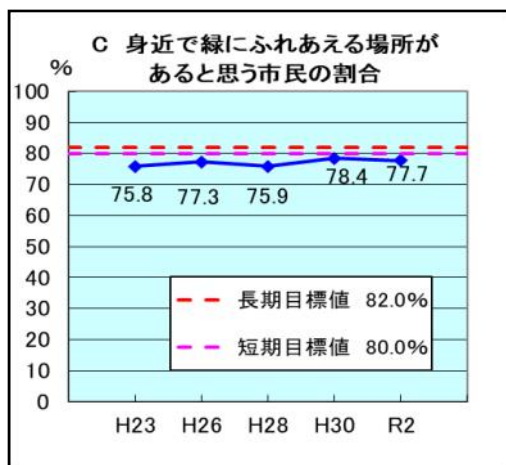
平成23年度からスタートした「第5次日進市総合計画(※1)」に掲げる各施策の進行管理及び評価を行うために、3年に一度を目安として行う調査です。(平成26年より2年に一度に変更)



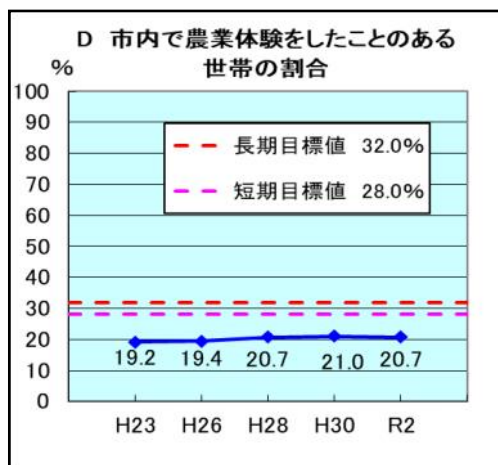
※水環境についての設問です。



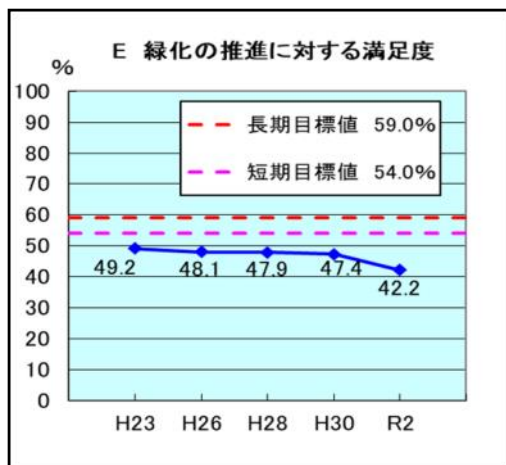
※水辺環境の保全・創出についての設問です。



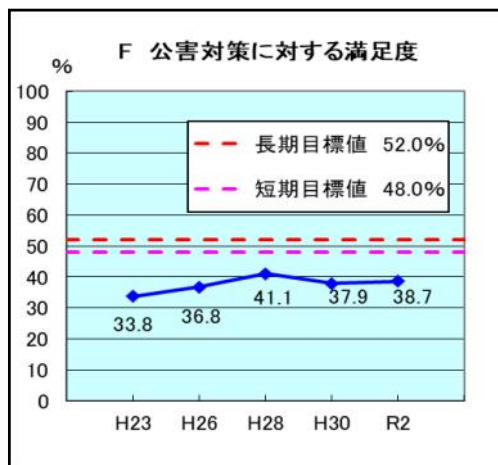
※緑地環境の保全についての設問です。



※市民に親しまれる地産地消・交流型農業の推進についての設問です。



※緑化推進・緑地保全についての設問です。

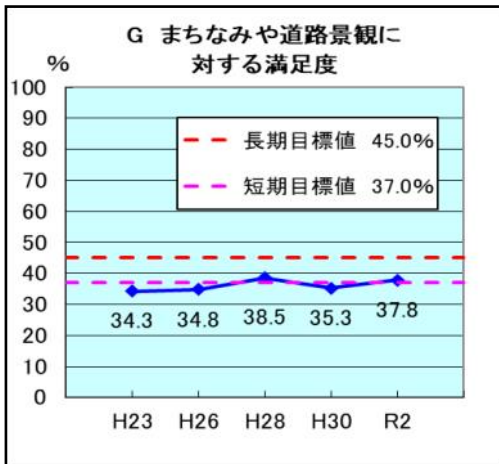


※地域環境の向上についての設問です。

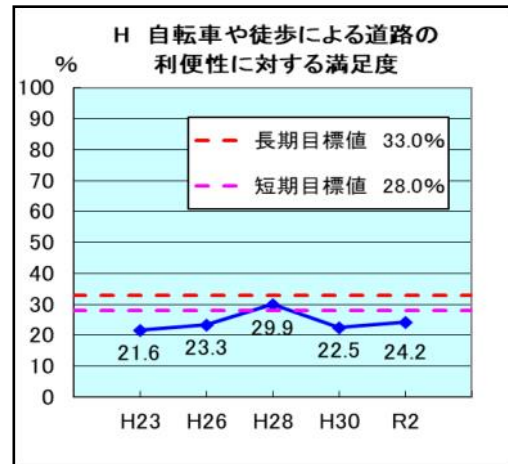
※1 第5次日進市総合計画
平成23年から令和2年までの10年間を対象期間とした日進市の行政運営の総合的な指針となる計画です。

【調査概要】

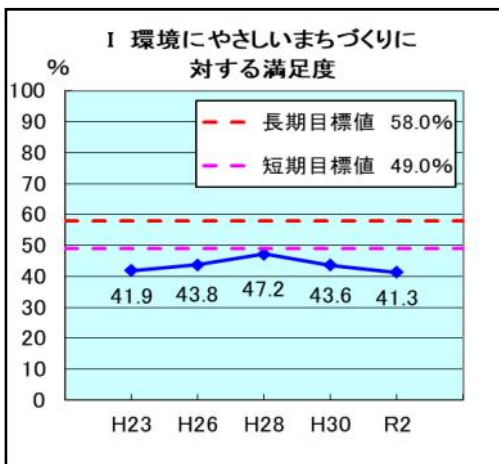
1. 調査対象：日進市在住の18歳以上の方
(令和2年10月1日現在)
 2. 抽出方法：無作為抽出
 3. 調査方法：郵送配布・郵送回収
 4. 調査時期：令和2年10月23日～11月6日
 5. 配布数：3,000票
 6. 有効回収票：1,399票
 7. 有効回収率：46.6%
- ※回収できた回答から、集計に不適切な回答を除いた割合



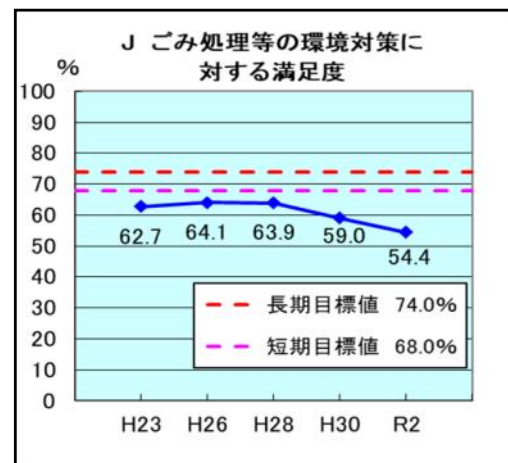
※景観についての設問です。



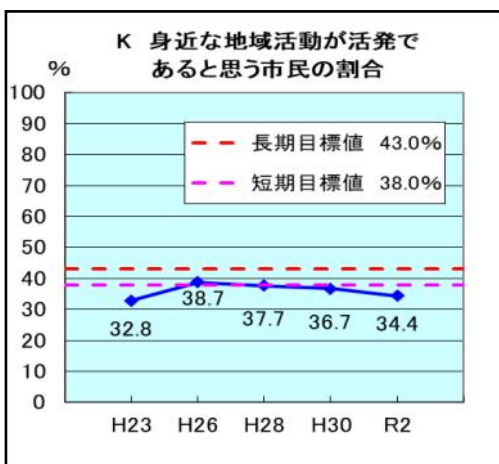
※交通環境整備による安全性の確保についての設問です。



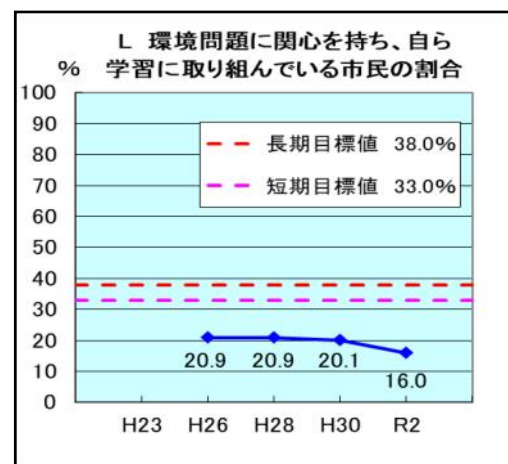
※低炭素社会に向けた取組についての設問です。



※ごみの適正処理と再資源化の推進についての設問です。



※地域コミュニティ活動の活性化支援についての設問です。



※環境意識の向上についての設問です。

※2 各表の割合は、環境や日常生活に関する暮らしやすさの評価の設問において、満足している人の割合です。

※3 「L」にH23の記載が無いのは、H23とH26で質問内容が変わったことにより比較ができないため、この項目に限りH26を基準値としています。

令和3年度の取り組みを紹介します！

ESD講座で未来への人づくりを推進します！

日進市ではSDGs達成に貢献できるよう、ESDの考え方を取り入れた人づくりを行っています。令和3年度も生き物や自然、暮らしの中など様々な視点から地球環境への学びにつながるESD講座を実施します。

また、毎年大人気の体験しながら楽しく地球温暖化について学べる、企業と連携した講座も開催する予定です。



Webを活用した情報発信を行います！

令和3年度のわいわいフェスティバルは初のWeb開催になりました。

日進市でSDGs活動する66の市民活動団体、大学、高校、企業、行政などの団体が参加しています。



にしんテレビ6月号で、不法投棄やごみ集積所の様子を紹介しながら、ごみ出しのルールなどについてお伝えしています。

にしんテレビはケーブルテレビ(CCNet)12チャンネルと、日進市YouTubeチャンネル、市ホームページで視聴できます。

【担当者のつぶやき】

令和2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、これまで経験したことのない1年になりました。新型コロナウイルスの感染源はまだ解明されていませんが、一説には動物由来のウイルスではないかとも考えられています。

森林伐採による生息地の減少や地球温暖化による環境の変化など、野生動物の生息地は変化しています。人と野生動物の生息環境が不用意に近づけば、私たちは、未知のウイルスと遭遇する可能性が高まるという指摘もあるそうです。日々の暮らしを一変させた新型コロナウイルス感染症ですが、新たな社会課題を突きつけた中でも、多くの企業が従来の働き方から在宅勤務の実施、柔軟な働き方の受け入れを実施するなど、女性が活躍しやすい環境に一步前進したのではないのでしょうか。

SDGsを達成するための決まった正解はありません。地球と未来のことを考えてできることから行動してみましょう。

日進市のESD・SDGsの定着に向けた取り組み

●日進市のESD・SDGs定着に向けた取り組みとして、SDGsアイコンごとに各課等に関する業務をまとめたリーフレットを作成しました。



●各課のESD・SDGsの取り組みについて、瓦版を作成してご紹介しています。



これらは、市のホームページでご覧いただけます。

[環境課 ESD推進係]

TEL:0561-73-2896



令和3年12月

発行:日進市

生活安全部 環境課

住所:日進市蟹甲町池下268番地

電話:0561-73-2896

FAX:0561-72-4603

Email:kankyo@city.nisshin.lg.jp